

議会だより

109号
2015.3



絵本の里けんぶち道の駅直売運営協議会のみなさん

第3回臨時会	平成25年度決算を認定	2P
第4回臨時会	職員の給与に関する条例改正	3P
第4回定例会	固定資産評価委員の選任、選挙管理委員・補充員の選挙	3P
決算審査特別委員長報告	委員会の主な質疑	4~10P
一般質問	5名が登壇(第4回定例会)	11~15P
親しまれる広報をめざして	町民5人にインタビュー	16~17P
スポットライト「道の駅直売運営協議会」	3町議会議員研修会	18P

平成26年
第3回臨時会
10月30日
～11月7日

平成25年度決算を認定

一般会計・6特別会計合わせて2億6,446万円の剰余金

補正予算

○一般会計に277万円を追加しました。

主な内容は簡易水道事業特別会計への繰出金194万円、5ヵ年の農業振興計画策定のためのアンケート業務の委託に75万円などです。

可決全員賛成

○簡易水道事業特別会計に209万円を追加しました。

主な内容は漏水による修繕73万円、水道施設等新設・増設に104万円、西原町給水管接続工事助成金31万円などです。

可決全員賛成

決算認定

平成25年度各会計決算については特別委員会に付託し慎重に審議しました。概要は4～10ページに記載しています。

○平成25年度一般会計決算認定

認定

○平成25年度国民健康保険事業特別会計決算認定

認定

○平成25年度国民健康保険町立診療所特別会計決算認定

認定

○平成25年度後期高齢者医療特別会計決算認定

認定

○平成25年度介護保険事業特別会計決算認定

認定

○平成25年度簡易水道事業特別会計決算認定

認定

○平成25年度下水道事業特別会計決算認定

認定

賛成討論

古山議員



本町の財源は交付税に大きく依存し、昨年は地方交付税が前年比2.8%減となったところですが、経常経費の削減に努められ、事業の効率化・縮減などを図り一般会計では、1億8,295万円余りの剰余金となり、その内7,000万円を基金に積み立てたことは、次年度に向けての財源確保に高く評価するものです。

しかしながら各課の歳入において相当の不用額が発生しているため、予算編成においては十分精査の上、予算計上をお願いするところです。

町税、国保税、各種使用料の収納率は高く、担当課の徴収努力に深く敬意を表します。今後も引き続き滞納分について、更なる徴収をお願いするところです。

平成25年度は土地基盤整備事業の継続、じゃがいもを剣淵の名産品として位置付けし、映画「じんじん」は全国はもとより海外でも好評であり、剣淵町の名が広まったことは喜びとするところです。

本特別委員会で委員から出された多くの意見に配慮し、次年度の予算に反映して頂くよう期待して賛成討論とします。



決算審査特別委員会の様子

この続きは右上から

次ページ左上から

平成26年
第4回臨時会
11月27日

補正予算

- 一般会計に1,103万円を追加しました。
主な内容は、衆議院議員選挙費457万円、職員給与費486万円などです。
可決全員賛成



- 下水道事業特別会計に114万円を追加しました。
主な内容は浄化センターの修繕費です。
可決全員賛成

条例改正

- 職員の給与に関する条例の一部を改正
可決全員賛成
- 特別職の給与に関する条例の一部を改正
可決全員賛成
- 教育委員会教育長の給与、勤務時間に関する条例の一部を改正
可決全員賛成
上記3件の改正は、人事院勧告による国家公務員の給与改定で平成26年11月12日、一部改正案が成立したことにより、7年ぶりの引き上げとなるものです。

平成26年
第4回定例会
12月18日・19日

補正予算

- 一般会計に823万円を追加しました。
主な内容は、パート職員の賃金71万円、公共交通維持対策事業費73万円、知事・道議会議員選挙費212万円などです。
可決全員賛成
- 介護保険事業特別会計に216万円を追加しました。
主な内容は、介護保険システム改修の費用です。
可決全員賛成

選任

- 固定資産評価委員の選任

次の方の選任同意を求められましたので同意しました。

宮崎 榮 氏 西町9番8号 (再任)

専決処分

- 特別功労者弔慰金50万円
特別功労者 故 児玉 吉一 氏
12月2日に亡くなられた児玉吉一氏に対する弔慰金です。
可決全員賛成
- 損害賠償額46万円
平成26年3月に発生した接触事故にかかる賠償金で 全額保険で対応するものです。
可決全員賛成

選任

- 選挙管理委員の選挙
平成27年1月16日の任期満了に伴い、次の方々の議長指名に同意しました。
野 川 信 夫 氏 東 町
山 口 茂 樹 氏 屯 田 町
小 澤 繁 氏 仲 町
鈴 木 真 喜 子 氏 南 桜 町
- 選挙管理委員補充員の選挙
平成27年1月16日の任期満了に伴い、次の方々の議長指名に同意しました。
細 田 正 勝 氏 屯 田 町
前 内 千 景 氏 西 町
早乙女 晃 隆 氏 仲 町
鷹 合 亜 希 子 氏 旭 町

要望意見書

- 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める要望意見書
- 必要な介護サービスを受けられるよう求める要望意見書
- 一. 要支援者・要介護者へのすべての介護サービスをこれまで通り保険で継続すること。
- 二. 介護報酬を大幅に引き上げるとともに、国の責任で介護職員の確保・処遇改善のための施策を早急に講じること。
- 三. 介護保険料の値上げを抑え、介護の基盤整備を推進するため、国は地方自治体に必要な財源を補助すること。

この続きは右上から



武 山 啓 一
決算審査特別委員長

6,446万円を計上

そのうち9,200万円を 基金に積み立てる

決算審査特別委員会は平成26年10月30日午後から11月4・5日の3日間開催され慎重に審議しました。

⑥特別会計の歳入歳出決算について慎重に審議した結果、決算審査特別委員会委員長の賛成をもって認定すべきものと決定した。

平成25年度については、歳入歳出差引2億6446万1885円の剰余を計上、この内一般会計で7000万円、国民健康保険事業特別会計で2000万円、介護保険事業特別会計では2000万円を基金に積立てを行ったことは健全財政を維持する上で大変意義があり評価するものである。一方、地方債の現在高は、一般会計と特別

会計を合わせた年度末残高は4億9559万6243円、前年度比で1183万4647円の増で、財政運営圧迫の大きな要因となっている。今後についても財政の健全化を基本に諸事業の見直し、経常経費の抑制に努め適正な行政運営を望むところである。

平成25年度は、新規事業として、高校寄宿舎(創明寮)増設工事とじゃがいもプロジェクト事業の展開、前年に撮影された映画「じんじん」が5月から本格的に全国上映が始まり好評を博していること

ろである。

基幹産業の農業施策では、圃場の排水機能の向上を図るために町内3地区に期成会が発足し平成26年度から着工となる。これらの事業によって今後農作物の生産性向上や観光・生徒確保に向けて大きな役割を果たしてくれるものとして期待する。

決算審査の中で特に次の点が指摘された。はじめに各種事業の検証が次年度以降に向けて大変重要であるのでしっかりと実施すべきである。次に平成25年度は各会計での不用額が多く、予算見積時の精査を充分に行う事。じゃがいもプロジェクトについては、PRに終わることなく目標を立て今後の作付増反に結びつけていくことを望む。

なお、本委員会で出された多くの意見を平成27年度予算編成に反映させるとともに、国が地方創生を唱えているところでもあり行政と町民が一体となって知恵を出し合いながら協働のまちづくりを推進し、町民が安心して暮らせる活力のある町となるよう一層の努力を期待し、委員長報告とする。

一般会計

歳入総額40億4,361万円

依存財源

地方交付税	21億8,870万円
町債	4億1,630万円
国庫支出金	2億6,662万円
道支出金	2億3,472万円
地方譲与税	9,641万円
その他	5,913万円

自主財源

町税	2億7,288万円
繰入金	2億1,638万円
繰越金	8,484万円
諸収入	8,885万円
その他	1億1,878万円

剰余金 2億



高校寄宿舍「創明寮」一人部屋内部



映画「じんじん」舞台挨拶 一兵庫県篠山市一



創明寮内部、議員視察



暗渠工事施工状況

一般会計

歳出総額38億6,065万円

給与費 5億6,959万円

民生費 5億7,909万円

公債費 4億2,254万円

教育費 5億565万円

総務費 4億5,984万円

衛生費 3億1,520万円

土木費 3億7,480万円

農林水産業費 3億2,183万円

商工費 1億6,401万円

消防費 1億637万円

議会費 4,066万円

災害復旧費 107万円

平成25年度6特別会計決算報告

	歳入	歳出	差引残額	基金繰入学額
国民健康保険事業特別会計	5億9,705万円	5億4,322万円	5,383万円	2,000万円
国民健康保険町立診療所事業特別会計	1億7,883万円	1億6,449万円	1,434万円	
後期高齢者医療特別会計	4,771万円	4,673万円	98万円	
介護保険事業特別会計	4億6,347万円	4億5,400万円	947万円	200万円
簡易水道事業特別会計	2億4,566万円	2億4,387万円	179万円	
下水道事業特別会計	1億1,736万円	1億1,627万円	109万円	

平成25年度
決算審査特別委員会

決算審査特別委員会のなかで出された
主な質疑の概要を掲載します

一般会計歳入質疑

卯城委員

収入未済額について不納欠損を
防ぐよう、どう努めているのか。

田中住民課長

納期を過ぎると督促状を出し、
分納などの方法を勧めている。

生出委員

収入未済額は単年度の金額なの
か。

田中住民課長

現年度分の未済額。滞納繰越分
は5年を経過していないものを未
済額として徴収している。

生出委員

住宅使用料未済額は66万円ほど
だがその内訳は。滞納繰越は何人
か。重複しているか。

館野建設課長

全て公営住宅。滞納繰越は1カ
月1件で加算、固定滞納は5件ほ
ど。

生出委員

固定化するの、無理な家賃と
なっているのではないか。

館野建設課長

収入により家賃設定している。
減免措置も近隣市町と比べても手
厚い措置と思う。

高橋一博委員

樋門操作委託について操作の講
習をすることのことだったが。

館野建設課長

樋門管理者は全員が農家で、11
月中には実施したい。

生出委員

樋門操作委託について、洪水時
の一人操作は危険であり二人体制
は考えていないのか。

館野建設課長

樋門は69力所。一人で2ヶ所を
管理しているところもある。隣接
する管理者などで連携できればと
思う。

高橋一博委員

絵本の館協力金について増やす
手立ては。

半田教育長

館は入館料の徴収はしない。事業
の負担金や参加料は徴収している。

一般会計歳出質疑

た場合に支出する。

高橋一博委員

町有財産を資産評価しては。

村椿総務課長補佐

道路などを評価し積上げて算出
するもの。台帳を整理したい。

卯城委員

庁舎や車両などの償却資産額を
把握すべき。物品などの更新タイ
ミングを計るために必要ではない
か。

村椿総務課長補佐

次の更新時に活用できるよう作
成したい。

高橋一博委員

農地の権利移転の際、一括生前
贈与や農地法納税猶予は農地の流
動化の足かせとなるのでは。

石村農業委員会事務局長

要望は出しているが改善されな
い。

卯城委員

固定資産税不納額とは、資産の
現金化ができないということか。

田中住民課長

固定資産税は時効が5年間で不
納は二人である。差し押さえるこ
とも検討したい。



庁舎前スロープ

生出委員

庁舎入口の車椅子スロープは傾
斜が急で、雪もあり冬は使えない。
改善できないか。

竹内総務課長

電話などで玄関まで出向くこと
がある。除雪を頻繁に行いたい。

高橋一博委員

予備費は具体的にどのような時
に支出するのか。

村椿総務課長補佐

災害時や職員の残業が多くなっ

卯城委員

固定資産税は財産の所有により発生する。時効となって免責となるのは公平性に欠けるのでは。

田中住民課長

25年度決算時点の数字だが、以降も足を運び相談をして、少しでも納めてもらうように努めている。

富山委員

固定資産評価審査員と補助員の仕事の内容は。

根本住民課係長

審査員は委員会での土地や家屋などを評価して算出した課税金額を妥当か否かを中立の立場で審査する委員で3名おり、補助員は調査に同行して評価に立ち会っている。

生出委員

固定資産税滞納資料で繰越滞納額140万円ほど、不納欠損11万円ほどで、総合計が210万円となっているが内容は何か。

根本住民課係長

総合計にはすべての町・道民税や軽自動車税も合計されている。

高橋一博委員

固定資産税の対象建物の定義は。根本住民課係長

屋根があり、三方向以上の壁が

あり、基礎が固定されているもの。

高橋一博委員

移動可能なスーパーハウスなどや太陽光発電施設は。

根本住民課係長

基礎による。ブロックだけでは対象とならない。太陽光発電施設は事業用は償却資産で課税。個人所有は課税していない。

高橋一博委員

保護司が出役したことがあるのか。その人選は。

田中住民課長

更生の道を探るための相談などをしている。保護司会があり、辞任時に推薦している。

古山委員

道北双葉里親会に町内の会員はいるか。

田中住民課係長

町内に会員もいる。子どもを預かって扶養する会で、その会への補助。

生出委員

電気料が値上がりしているが、どれほどを見込んでいるのか。

竹内総務課長

北電で試算している。庁舎は50万円ほどで来年から影響が出る。

大澤委員

保育所費のうち旅費については不用額ゼロだが。それと賃金不用額55万円ほど。職員の賃金アップとならないのか。

田中住民課長

旅費は年度途中での補正でゼロ。代替分がないため不用に。余ったから給与アップとはならない。

富山委員

保育所と学童保育所の委託料が大きく違うが業務内容が違うのか。

真嶋保育所所長

施設の構造から、保育所は窓が高く清掃を委託、学童は平屋で、先生方で清掃している。警備システムは保育所が入っていないので新年度導入を検討している。

大澤委員

蜂の巣駆除は依頼があっていくのか。定期的に見回りをしているのか。

板東住民課主幹

町民からの連絡もあるが、委託先の企業組合への直接的な連絡もある。

卯城委員

NPOワンツースリーとはどういう組織か。負担の理由は。

酒井健康福祉課長

NPOワンツースリーの開発した「ふまねっと体操」を活用している関係の負担金。

高橋一博委員

在宅介護も含め、高齢者を支援する制度をもっとPRしては。酒井健康福祉課長

地域包括支援センターに相談していただくことをPRしたい。



地域支援センターの窓口

生出委員

緊急通報システム機器は、皆が使い方を理解しているのか。設置家庭の健康確認などの訪問も必要ではないか。

矢口健康福祉課係長

機器設置の際に、業者と職員と

で通信をして確認。健康状態の確認は月一度の訪問や、地域包括支援センターから家庭への電話で確認したりしている。民生委員や地域包括センターやケアマネージャーなどからも対応してもらっている。

生出委員

健康確認で訪問をした際、機器の使い方の周知徹底をする必要があるのでは。

渡辺健康福祉課係長

通報システムの機器には大きなボタンがあり分かり易いと思う。定期の訪問時にも丁寧に伝えたい。

畠山委員

福寿寮について、生活支援員の数、勤務時間、仕事の内容は。

渡辺健康福祉課係長

支援員は8時から12時までの4時間、3名で365日常駐している。施設内清掃や住人の体調の確認。

認。

高橋一博委員

高齢者肺炎球菌予防接種助成について対象となれば通知はあるのか。インフルエンザ予防接種の効果は。

松村健康福祉課主幹

いずれも個人の予防接種。個人通知はしない考えで引き続き補助する。効果は3〜4か月。

古山委員

26年度に看護師が辞めたが補充はどうなっているのか。

酒井診療所事務長

8月から9月にかけて4名が辞めた。9月から臨時1名、10月から職員1名、11月からパート1名の3人体制となる。

畠山委員

往診時の自動車の使用料はどうなっているのか。

中上診療所主幹

2キロまで200円、以後2キ



シシリアンルーヂウトマトジュース

ロごとに200円加算となっており、患者負担である。

卯城委員

担い手チャレンジ事業支援助成金を受けた1団体の事業内容は。

また、都市女性との交流事業の成果は。

精進農林課課長補佐

剣淵産野菜加工研究会が2年目になるが、シシリアンルーヂウトマトジュース、ケールペーストを作っている。

婚活事業は25年度8月に実施、

男女26名が参加し、5組が成立。見込みを含めて2組が結婚と聞いている。観光目的の参加者がいた

のが反省点になる。

高橋一博委員

馬鈴薯生産振興対策補助金は10ア当たり1000円だが、種子馬鈴薯不足で厳しい状況にあり、種子

馬鈴薯の単価増額を検討しては。

鹿野農林課参事

10ア単価は生産者の経費も上がっていることも踏まえ、3年が経過したので見直しも含めて考える。

高橋一博委員

じゃがいもプロジェクトはどこ

に力を入れたいのかわからない。最終的にどういう形にしたいのか。

鹿野農林課参事

PR不足は感じている。1年が過ぎたところだが、じゃがいもの作付面積も減っているので、減らさずにいくことを考えたい。剣淵

といえば「じゃがいも」となるように付加価値をつける加工品も考え

ていきたい。



じゃがいも（宣伝のぼり）

高橋一博委員

じゃがいもプロジェクトはぶっちゃけなのような目を引くものが必要ではないか。

鹿野農林課参事

昨年のぼりを作成しており圃場に立ててはどうかということまで

算のときに考えたい。

大澤委員

いろいろなフェスタ、フェアなどのイベントへ派遣しているが、目立つような工夫を助成する側も協力して探っていくかなければならないと思うので、その後の効果検証しているのか。

精進農林課課長補佐

団体から事業報告を受けてまとめているが、第3者からの評価等は受けていない。考えていく必要があるかと思う。

生出委員

じゃがいもプロジェクトは販売のPRにしか見えない。過去に、種子を作るために高等学校で、あるビル会社がマイクロチューバーという方法で種子を作る研究をしていた。そのようなことで種子生産の省力化ができるのではないかと、そういう研究こそじゃがいもプロジェクトなのではないか。

鹿野農林課参事

じゃがいもはPRに重点を置くくらいがあるが、生産、加工の部分も幅広くやっていくと言ったことが始まりなので内部でも十分協議したい。種子はJAとの協議がいる。

卯城委員

農地水のうち、共同活動支援と向上活動支援の中身は。

中上農林課課長補佐

共同活動支援は資源保全組合がある8地区で用排水路、法面の草刈りや泥さらいなどの共同活動に対して交付金で支援するもの。向上活動支援は農業用施設に対する補修までを対象にして、施設の長寿命化に関し補助するもので、東町排水路補修の1地区。

高橋一博委員

今年のアライグマの捕獲もされた。まだ被害が出ていないが、罠を仕掛けたときの確認も必要では。



射水市農業産業まつり

田中農林課主幹

地元の農家への協力を仰いでいるが、罠の確認も頻繁になつていくと考える。

大澤委員

射水市交流団派遣の人選はどのようにしているのか。

上林町づくり観光課長

具体的なきめはないが、農業分野、商業分野、公職を持っている方々でバランスを取っている。

大澤委員

射水市への派遣は公募をしては。

上林町づくり観光課長

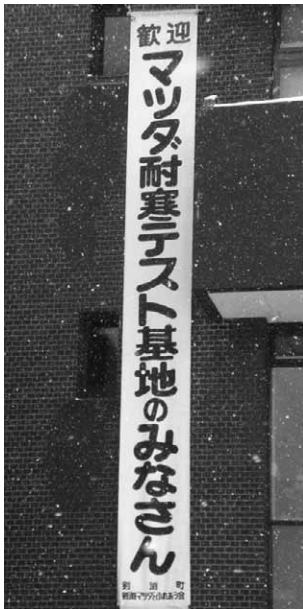
公募は検討してみたい。

大澤委員

人材育成研修年度末とあるが早い時期に派遣して検証を丁寧にするべきではないか。

上林町づくり観光課長

町の直轄事業で実施し、ある程度テーマや視察地を委員会の方針を立て人選した。農業関係者であ



り夏はなかなか行けずに遅くなつてしまった。

卯城委員

マツダ車購入助成は、最初は経営が厳しいから応援するというところでスタートした。今は業績を上げており継続をどう捉えているのか。

清水副町長

25年度は12台助成。当初はマツダを支援していることというもので、愛用推進運動ということで変わらず応援していきたいと考えている。

古山委員

マツダ車購入助成事業の決算書と行政報告書の数字の差は。

長谷川町づくり観光課係長

助成額以外に事務負担もあり、振り込み手数料の分である。

富山委員

出前講座の実績を町民に周知しているのか。

上林町づくり観光課長

出前講座としては3件だが、担当職員が地区の会合などに出向いて話をする機会が多いので、あえて周知はしていない。利用方法は、年一回の回覧で周知している。

高橋一博委員

天塩川治水促進期成会の要望活動実施とあるが、土地改良区の取水期間を長くして欲しいと要望しているのか。

清水副町長

要望が上がってきているのは町も承知している。改良区とも意見交換をしているが、河川法、水利権は変更すると別にひずみが来るということなどで難しい問題と考えている。

高橋一博委員

インターチェンジキャンペーンに取り組んだことによる経済効果は。

上林町づくり観光課長

具体的な効果の説明は難しいが、スタンプ押印数は道の駅が一番多く、2位は絵本の館と考えると町に一定の効果はあると思う。

高橋一博委員

スタンプの効果があるのなら他の店も加盟をするのではと思うが加盟するには面倒なのか。また、負担金の40万円の内容は。

桜井町づくり観光課係長

加盟は面倒ではなく、加盟料も



道の駅スタンプコーナー

かからない。直ぐに売り上げが伸びるものでもないということも加盟が増えない要因かと。

40万円は広告料で景品等の予算の半分は道の補助金、残りを士別と剣淵で人口割りしている。

富山委員

消費生活行政相談は5件だが、その内容はどのようなものか。また解決はしたのか。

桜井町づくり観光課係長

内容は全て士別市役所で相談員が対応している。全ての情報は剣淵には来ない。相談員の中で収まることであれば電話相談で解決するが、大ごとだと剣淵に来る。25

年度はない。

高橋一博委員

さぬき市交流事業の児童受け入れで、さぬき市では受け入れ家庭に補助しているのか。

足立教育課長

さぬき市では補助していない。

生出委員

旅費の不用額で外国青年招致事業が大きい、それはどうしてか。山下教育課長補佐

外国青年招致事業渡航費は入替

の年なので2名分を計上したが、

渡航先の変更による残と職員旅費

の執行残。

大澤委員

学校の備品等は教育委員会から行って見ているのか、学校から要望が出てきたものを検討するのか。

足立教育課長

予算要望は学校事務から管理職を通して、また各教員からも授業や部活の備品教材も出してもらっている。教育委員会から見に行くことはない。

大澤委員

予算に不用額があるなら理科備

品で古いのがあるとされている。

定期的に確認も必要ではないか。

半田教育長

予算は学校内で優先順位をつけて出してもらっている。使用予定計画は学校に任せている。また、理科教材、図書関係は重点的に交付税措置していると伝えてある。



香川県さぬき市・剣淵町交流事業

答 パワーアップの継続と 事務局体制を強化したい



早坂純夫 町長

問 道営基盤整備事業の 進め方について



高橋 毅 議員

道営基盤整備事業を進める上で、近年の異常気象による集中豪雨などでビリ暗渠の必要性がより高くなってきている。計画進行中の4地区の受益者負担分に差があるので道のパワーアップ事業に乗せることと、事務局体制強化の必要性があると思うが町長の考えは。

早坂町長

現在道営事業の受益者負担分は、剣淵中央地区と東地区は12・5%、西地区は15%と取組み事業によって差があるが、パワーアップを利用するといずれも7・5%まで負担が軽減されるので、パワーアップの4期目が27年で区切りを迎えるが、継続に向け努力をしたいと思う。また事業推進のためにも道との職員交換で農政部の方を迎えるなど事務局体制の強化に努めたいと思う。

高齢者宅への除雪支援を 強化できないか

高橋議員

当町でも高齢者や一人暮らしの世帯が増えてきている。冬の除雪

の大変さから子ども達の住む都市部に移住する人が増えてきている。近隣の町村でも単身高齢者世帯などの除雪を市町村が手助けするところも出てきている。当町としても住み慣れた町にいつまでも住み続けてもらうことが人口流出防止の観点からも重要と思う。高齢者世帯などへの除雪支援強化の必要性について町の考えは。

早坂町長

4町内の方を対象に11月から3月まで15cm以上の降雪のときに、概ね65歳以上の単身世帯、高齢者



世帯など除雪に支障があると認められ、町内に親族等が居住していない世帯の除雪支援を行っているが、農村部については自治会を中心に協働の町づくりの共助という立場から健康福祉課に相談してもらいたいと思う。

じんじん号の課題と PRは

高橋議員

10月1日より乗合自動車じんじん号の運行が始まり2カ月が経過した。その中で出てきた課題とより利用し易い形にするための改善点とPRの方法を工夫する必要があると思うがどうか。

早坂町長

運行計画では1日3路線9便となっており、利用登録者数は141名で実際に利用された件数は10月が40件、11月が42件で少し低調に思う。利用者の声として玄関先まで迎えに来てくれて1回300円ということは安いし便利だといわれている。冬休みや夏休みは通学バスを休止し、じんじん号で代替えるのでよりPRに努めたい。

答 6次産業化支援による雇用創出と新産業の誘致活動を考えている

問 本町の人口減少に対する町長の施策は



高橋一博 議員

本町の人口は毎年減少の一途をたどっており、今後もこのまま推移すると本町の存続にきわめて大きな影響が出るのは必至である。現在進行している人口減少を最小限にするために次の3点について伺いたい。

①若者の雇用の創出について

若い人が本町で定住するには仕事先がなければならぬ。行政として今後若者の雇用創出に対してはどのように考えているのか。

早坂町長

農業の担い手確保と若手農業者による6次産業化に向けた取組みへの支援による雇用の創出に対して期待と新産業の進出に対する情報収集による誘致活動を考えているが、慎重にやっていきたい。

②少子化対策について

高橋議員

少子化対策は本町において待たなしの深刻な問題であり、少しでも出生率を上げるために現在の子育て支援策だけでなく更に手厚い支援の実施が必要ではないか。

早坂町長

国の施策の他に町独自のさまざまな事業を実施しているが、今後仕事と子育ての両立支援、子育て中の家庭の負担軽減を図るための男性を含めた就業体制としての女性の産前産後の休暇、職場復帰への確保・男性の育児参加、休暇など実行できる環境づくりが必要と考えている。

高橋議員

新たな経済負担の軽減策を27年度予算に盛り込めないか。

早坂町長

関係所管課と検討するが、今の時点では研究次第とししか言いえない。

③商店街の今後と高齢者の生活必需品の購入に対する施策について

高橋議員

近年商店街のシャッターを下ろす店が増加しており、交通手段が限られている高齢者は生活必需品の購入が不自由になりその結果、町外への転出となり更に人口減少に拍車がかかる。高齢者が買い物難民にならないために今後の商店街をどう考えているか伺いたい。

早坂町長

他町村ではさまざまな事業を展開しており、本町においても住民へのニーズを把握し商工会が主体性を持って商店が一致協力し実施できる買い物難民支援策を検討していただければと思う。

高橋議員

商店街の看板を国道に設置し通行車両を街中へ誘導してはどうか。

早坂町長

現在の看板も老朽化しているのので商工会と相談して方向性を見出したい。



駅前ガイドマップ看板

答 28年度に公営住宅
長寿命化計画の見直し
を行いその後建替え
建設を盛り込みたい

問 元町の公営住宅の建替え
や住み替えは急務では
ないか



生出孝男 議員

今後、公営住宅の建替え・改善等の整備をどうするのか。公営住宅ストック計画もどうしていくのか。特に、元町の公営住宅団地は耐用年数をはるかに経過している居住環境も劣悪であり、建替えや住替えが急務であるが進んでいない状況にどう対応するのか。

早坂町長

建替え事業として東中央団地36戸の整備は完了したところだが、個別改善事業は4〜5年遅れの状況だ。改善事業は32年度まで年4〜8戸のペースで整備したい。来年度以降の建替えや新規事業は白紙であり、27年度に検討調査し、必要性和財政上の問題がクリアできれば28年度に公営住宅長寿命化計画の見直しを行い、その後建替え建設を盛り込んでいきたい。

元町東団地の住替えが進んでいない原因には、新築住宅の家賃が5〜6倍も高く負担が重くなることや温泉バスの利用に便利なことと年代層のコミュニティを大事にしていること。また、新築住宅には子育て世帯や町外からの新規入居希望者が予想以上に多かったことなどがある。



元町公営住宅

生出議員

建ててからの経過年数が48年経っており、町の住宅政策も何もしないということではなくて家賃が高ければ町の政策的なことで家賃を極力抑えて住替えを進めるべきだ。一番古いのだから住宅ストックプランの中で真っ先に計画を立て直して具体化することが先決ではないか。

早坂町長

古い建物から建替えるということとはご指摘の通りだ。劣悪な環境ということも事実のとおりで、住

宅の潜在的な需要も考慮して元町の入居者のコミュニティを壊さないかたちで住替えを促していきたい。

生出議員

古い住宅は政策的空家ということとこれまでやってきた。元町の公営住宅は経過年数ももうすぐ50年に近くなる。いま、公共施設の耐震化が非常に重視されている訳で長寿命化計画の中で早く住替えをしてもらうことが一番先にやらなければならないことだ。その計画の中に盛り込んでやっていけるのか。

建設課長

公営住宅は昭和57年以降のものしか耐震性能が無いので、元町に關しても十分庁舎内部で議論した上で一番最初にどう措置するか考えて進めていきたい。

生出議員

耐用年数も古い、耐震化もされていないのだから早く検討委員会を立ち上げて検討すべき

早坂町長

27年度に検討したい。財政が許せば少しでも早めに手を付けていきたいと考えている。

問 奨学金制度を拡充すべきと考えるが

答 見直す方向で検討したい



半田教育長

半田教育長 当町奨学金制度は月額高校生が1万円、短大生等が1万5千円、大学生が2万円以内となっていて、世帯の所得制限はあるが成績要件は付加されていない。卒業により終了した年度の翌月からの1年間で返済猶予期間、貸付期間と同期間内での返済とし、利子は無利子としている。

が。そこで増額と家族構成や事情などを考慮した柔軟な運用が望まれる

早坂町長

見直す方向で検討したい。



卯城規伊 議員

卯城規伊 議員 日本政策金融公庫は昨年度の道内教育費負担実態調査を発表した。入学金や授業料などの教育費が高校入学から大学卒業までに掛かる一人当たりの教育費は仕送りを除いても1007万円ほどにもなるとしている。教育費の高騰が家計を圧迫し、経済事情が教育格差を拡大している。大学への進学率は18歳人口の50%を越えようとしており、15年ほど続いた地域経済の低迷と就職難により子供の将来を考えると「教育投資」に熱心にならざるを得ない、極めて切実な家庭の事情があると思う。このことから従来からの「奨学金制度」の拡充をすべきと考える。教育長の考えを伺いたい。

半田教育長

卯城議員

今年4月、道内主要企業の新卒の採用実績が発表された。内容は82社で2952名が採用され内訳は大卒が1881名、短大卒等が349名、高卒が722名でした。このことは大・短大卒等が合わせて2230名となり、採用人員の75%、高卒が25%でした。産業の高度化などの影響から採用4人のうち、3名は短大卒以上の学力が必要とされていると見ることができると見

卯城議員

よその町より力を入れることで、進学できる学力のある生徒を経済的な理由で断念させないために、増額も含め検討しては、町長に伺いたい。

半田教育長

日本学生支援機構等の制度を補完する制度と捉えており、増額をした場合には、償還期間の延長や基金の増額も検討する必要がある。

子育て世代の調査結果によると子育ての苦労はどの問いに、「将来の教育にお金が掛りすぎる」の答えが世代による違いがあるにせよ5割から8割の世帯が1番に選んでいることから、教育の支援が大変重要な課題と認識している。これを機に調査研究したい。

回覧
平成26年度剣淵町奨学金貸付申込みについて

教育委員会では、毎年、剣淵町奨学金貸付条例に基づき、奨学金の貸付を行っています。経済的な理由により、奨学金の貸付を受けなければ入学が困難な高校生・大学生を対象に次の要綱で奨学金の貸付申込みを受け付けます。

貸付の要綱は次のとおりです。

- * 貸付対象者
 - (1) 本町に住所を有する者の子弟で経済的理由により進学困難な者
 - (2) 身体健康にして学業に精進できる者
- * 奨学金の額

高等学校生徒	月額 10,000 円以内
短期大学生(高専を含む)、専修学校 専門課程及び各種学校(高専対象)の学生	月額 15,000 円以内
大 学 生	月額 20,000 円以内
- * 奨学金の貸付期間
在学する学校の正規の修学期間と同じです。(無利子貸付)。
- * 奨学金の返還
貸付の終了した年度の翌月から起算して1年を経過した後、貸付を受けた期間と同じ期間内に貸付額を返還していただきます。
- * 貸付金の受付期間
平成26年4月18日(金)まで
- * 奨学金の貸付の決定
毎年度、奨学金の予算の範囲内で教育委員会が決定します。
- * 奨学金の貸付申込みの手続き
(1) 願書 (2) 保護者の住民票 (3) 進学する学校の校長の氏名証明書
(4) 前年の確定申告書または源泉徴収票の写し
以上の書類を各1部提出してください。
【(1)の「願書」は教育委員会に用意してあります。】

剣淵町奨学金貸付申し込み案内

答 道には農業関係ですでに1件申し込んでおり、その他の部門についてもバランスを考えて検討する

問 国の地方創生の方針にいち早く対応するため国への職員の派遣をしては



大澤秀明 議員

これからの国の方針である地方創生については今まで以上に職員の企画力、政策立案力が問われてくることは間違いないと思う。また国の方針に、より迅速に対応する手段として国への職員の派遣を検討してはどうか。

早坂町長

現在道の経済部に1名職員を派遣し、道職員1名を町づくり観光課で受け入れるという、いわば交換型の職員派遣研修を行っている。それにより各種補助事業など多数の提案事項を受けており職員の資質向上や情報の獲得に一定の効果がえられる。道には農業関係の部署に今希望を出しているところであり、国に対しては、職員の定数とのバランスを考えたいうえで必要かどうか見極め検討していきたい。

**株式会社レークサイド桜
岡の今後の経営方針は**

大澤議員

この度開業20年という節目を迎えたが経営状況は厳しく更に建物

の老朽化も進み、今後多額の費用が必要となってくる。そこで次点について町長の考えを伺いたい。(株)レークサイド桜岡の代表取締役を行政の長が兼任するのではなく、民間から起用してはどうか。

早坂町長

確かに経営状況は厳しく今年度も赤字が見込まれる。その中で株式会社性格上、町が最も出資額が多い状況の中では難しい。

大澤議員

道の駅にも民間から起用した駅長を配置してはどうか。

早坂町長

北海道では行政の長が設置者であり駅長を兼任するのが一般的だが本州の道の駅では民間から駅長を起用して成功している道の駅もある。民間の経営能力を備えた駅長を起用することができれば経営面でも非常に有益であると考えており適材とする人材がいれば駅長として起用することも良いのではないかと考える。

大澤議員

レストランメニューをジャガイモプロジェクト等を活かしたより

特色のあるメニューの開発、提供をしてはどうか。

早坂町長

レストランのメニューについてはこれまでも料理人が工夫したメニューの開発に取組んできたが質問の通りじゃがいもプロジェクトの一環としてより魅力的なメニューの開発と提供を行っていきたい。



道の駅レストランメニュー

町民インタビュー

親しまれる広報をめざして

みんなの声がまちづくり

インタビュー 項目

- ① 興味を感じる記事は
- ② 紙面の良い点・改善点
- ③ 町や議会に対する要望

子どもの夢を応援する企画を 望みます

西町 三浦 亮 人 さん



- ① 町民インタビュー。
子どもの記事。
農業団体の助成金などの情報。
- ② 写真をたくさん使用していて見やすい。
- ③ 町議さんの議会活動以外の日頃の活動を載せてほしい。
子どもは宝です。子どもの夢を引き出し、夢を応援する企画を望みます。例えば科学のでんじろう先生の授業、スポーツ選手の指導など。

町民一人ひとりが町の取り組み に意識、関心を持っていけるよ うに頑張してほしい

旭町 大河内 ヒロ子 さん



- ① 一般質問です。それによって町全体のいろいろな問題が見えてくるので。
- ② 表紙の目次が大きな字で書かれてあるので分かりやすいです。
- ③ 町民一人ひとりが町の取り組みを意識し、関心をより強く持つことが大事だと思うので、普段から議員さんには町民の側に立ち生活を見て声をかけてほしいです。議員さんとの懇談の場を設けてもらいたいです。

小学生 × 中学生 高校生

次の4項目について
インタビューをしました

- ① 議会広報を知っていますか？
- ② 剣淵町をどう思いますか？
- ③ どういう町だったらいいと思いますか？
- ④ 議員に聞きたいことはありますか？

町の人はいいさつを返してくれ優しい



剣淵小学校
児童会長
小柳 颯 希 さん

- ① 知っています。読んだこともあります。
- ② 絵本をPRしているところが良いです。
- ③ 自然をそのまま残してほしい。
- ④ 小学校が古くなってきていますが、建替えはしないのですか。議員はどんな仕事をしているのか知りたいです。小学校をもっとPRしてほしいです。

すばらしいまち

剣淵高等学校
風間 結衣 さん



- ① 知らないです
- ② 子どもたちが多いイメージで、小・中・高もあり、町は設備が整っていてすばらしいまちです。挨拶をすると挨拶を返してくれるところがいいです。
- ③ 絵本や本が好きなのでその部分を大切にしたいです。
- ④ 剣淵をどう変えていけばいいと思いますか。農業改革についてはどう思いますか。

子どもに優しいまちだと思う

剣淵中学校 生徒会書記長
西町 鈴木 廉 さん



- ① 知っています。回覧板で回ってきたら読みます。
- ② 子どもに優しい町だと思います。各検定の受験料を町から出してもらったり、保育所や公園なども新しくなっている。
- ③ このままでいいと思います。
- ④ 議会の会議はどのくらいの時間やっているのですか。議員は何人いるのですか。

スポットライト

道の駅直売運営協議会

剣淵産の野菜

と加工品を 味わって

絵本のりけんぶち道の駅が平成18年9月にオープン以来、剣淵産の新鮮な野菜やおいしい加工品などを多くの人に味わって頂きたいとの思いで、道の駅直売運営協議会が発足しました。現在会員は45名。農産物の直売は毎年4月の下旬か



ら11月の下旬まで北側の直売所で、そのほかの期間は道の駅内で販売しています。

販売する農産物は少しでも新鮮な野菜を提供できる様に、会員それぞれ「朝取り」と決めて、搬入も出来る限り早い時間としています。

野菜などの販売については会員のブース(商品棚)を決め、生産者の顔写真や野菜の調理法、会員の作物への思いなどを表示するようにしています。売れ残りや鮮度保持などには十分気を配り、役員が点検をして商品管理を行なっています。

協議会としては、「ゴールデンウィークや道の駅オープン記念のイベント、お母さんおすすめ野菜市など多彩なイベントを企画しています。また年に一度研修会も設け、今年はリクルート北海道「じゃらん」編集部から講師をお招きして研修を行ないました。

今後剣淵の道の駅に少しでも多くのお客様に遊びに来ていただけるよういろいろな挑戦をしていきたいと思っています。

会長 穴戸ひろ子さん寄稿



旭川弁護士会会長 小林史人氏

剣淵・和寒・幌加内3町議会議員研修

2月2日に剣淵町議会が当番で、レークサイド桜岡を会場として、剣淵町・和寒町・幌加内町の3町議会議員研修会が行なわれました。

今回は講師に旭川弁護士会会長の小林史人氏と、旭川弁護士会会員の高橋英俊氏を迎え「特定秘密保護法」についての講演をいただきました。

その中で特定秘密保護法について廃止を求めている日本弁護士連合会の見解と政府説明の比較を行いながら制度の解説を受け「秘密指定項目が多



岐にわたること」、「行政の思うがままに操作できること」、「罰則強化により報道すままならなくなること」など、地方においても全くの他人事ではなく影響を及ぼすものであり、危険な内容であることを認識しました。今後経過を見守り、情報をつかんでいくことが必要と感じました。

その後は懇親会に移り3町の議員同士で情報の交換や交流も深まり大変意義のある研修会となりました。